

ミクロン精密 株式会社

2013年8月期 決算説明資料

◆本資料は投資を勧誘、推奨するものではありません。この情報に基づいての投資判断は、個人の責任において行ってください。

会社概要

- ◇事業内容 : ^{しん}心なし研削盤(センタレスグライнда)
内面研削盤(インターナルグライнда)
その周辺装置の製造、販売
- ◇社 是 : 技術と人柄
- ◇社員数(連結) : 221名
- ◇平均年齢(単体) : 40.4歳
- ◇業績(連結) : 売上高: 2,842百万円
2013年8月期 経常利益: 932百万円
(第54期) 当期純利益: 643百万円

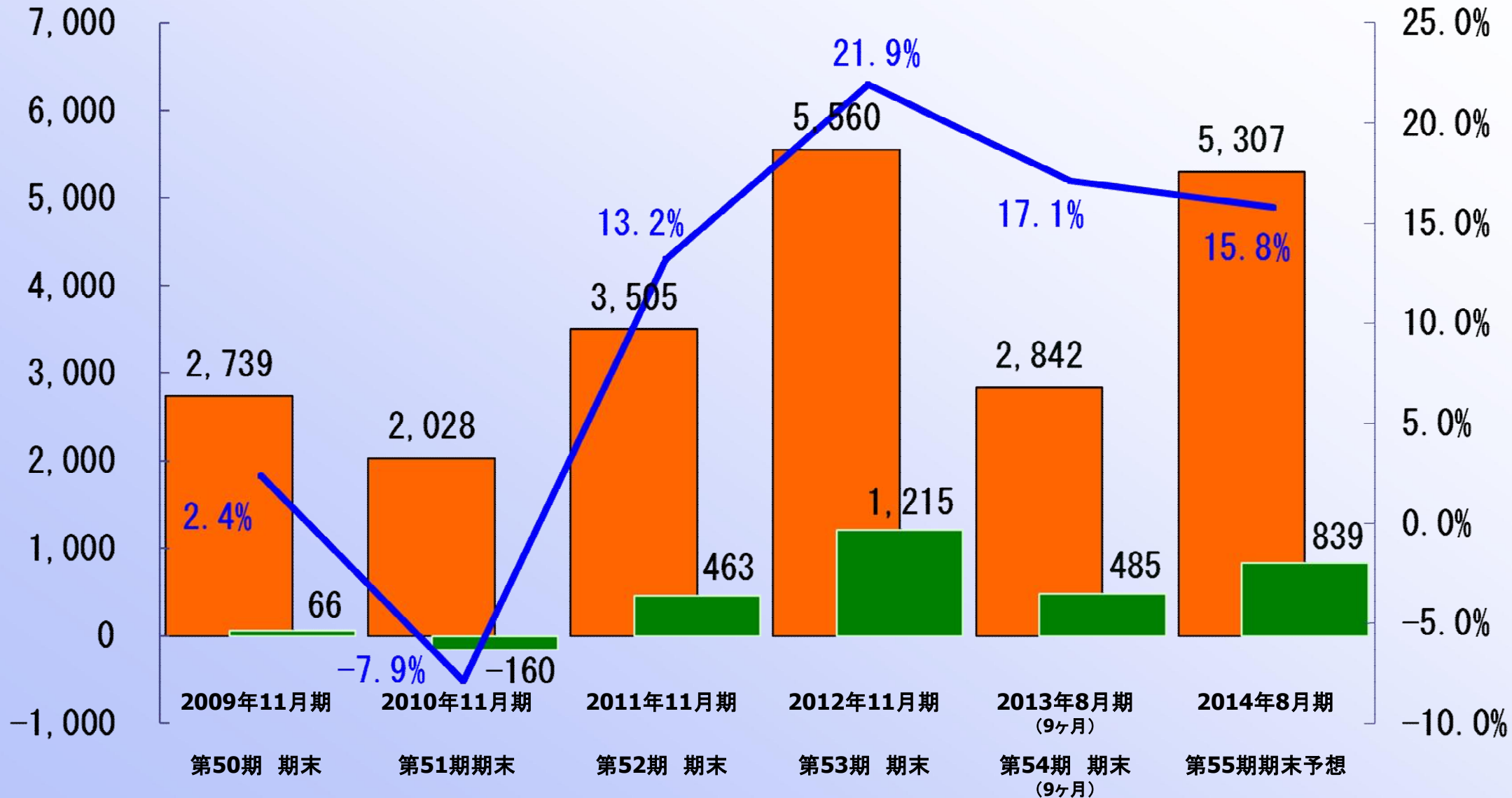
研鑽と人柄の醸成 【技術と人柄】

技術の研鑽と人柄の醸成を
通じた社会貢献と人格育成

売上高の推移<通期>

(単位：百万円)

売上高 営業利益 売上高営業利益率



2013年8月実績 損益計算書比較(連結)

(百万円)

	2012年11月期 実績		2013年8月期 実績 (9ヶ月)		前期 からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	5,560	100.0 %	2,842	100.0 %	- %
売上総利益	2,024	36.4 %	1,070	37.6 %	- %
販売費及び一般管理費	809	14.6 %	584	20.6 %	- %
営業利益	1,215	21.9 %	485	17.1 %	- %
経常利益	1,494	26.9 %	932	32.8 %	- %
当期純利益	875	15.7 %	643	22.7 %	- %
1株当たり配当金	50.00円		30.00円		

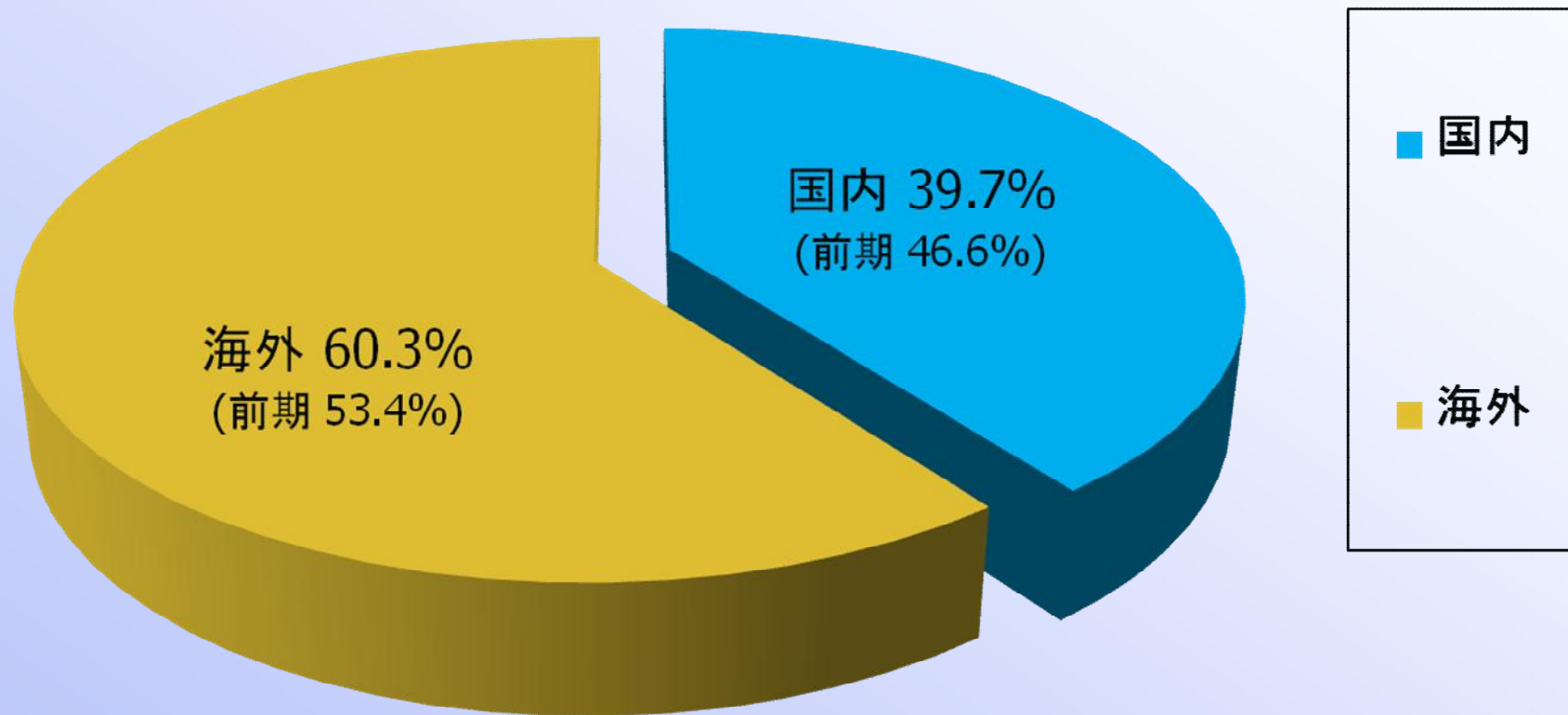
売上高につきましては、製品の売上計上基準を検収基準としておりますが、主に輸出案件に占めるアジア市場向けの一部がお客様の事情により検収が遅延しているため、売上が翌期以降に繰越となる案件があり、予想を1億63百万円下回る28億42百万円となりました。営業利益につきましては、前述の売上高の減少があったものの、生産効率の向上等により、予想を1億69百万円上回る4億85百万円となりました。経常利益につきましては、前述の営業利益の増加に加え、為替変動による外貨建資産等による為替差益(営業外収益)3億20百万円の計上があったことから、予想を5億79百万円上回る9億32百万円となりました。また、当期純利益につきましても、前述の経常利益の増加等により、予想を4億31百万円上回る6億43百万円となりました。

2013年8月予想と実績 損益計算書(連結)

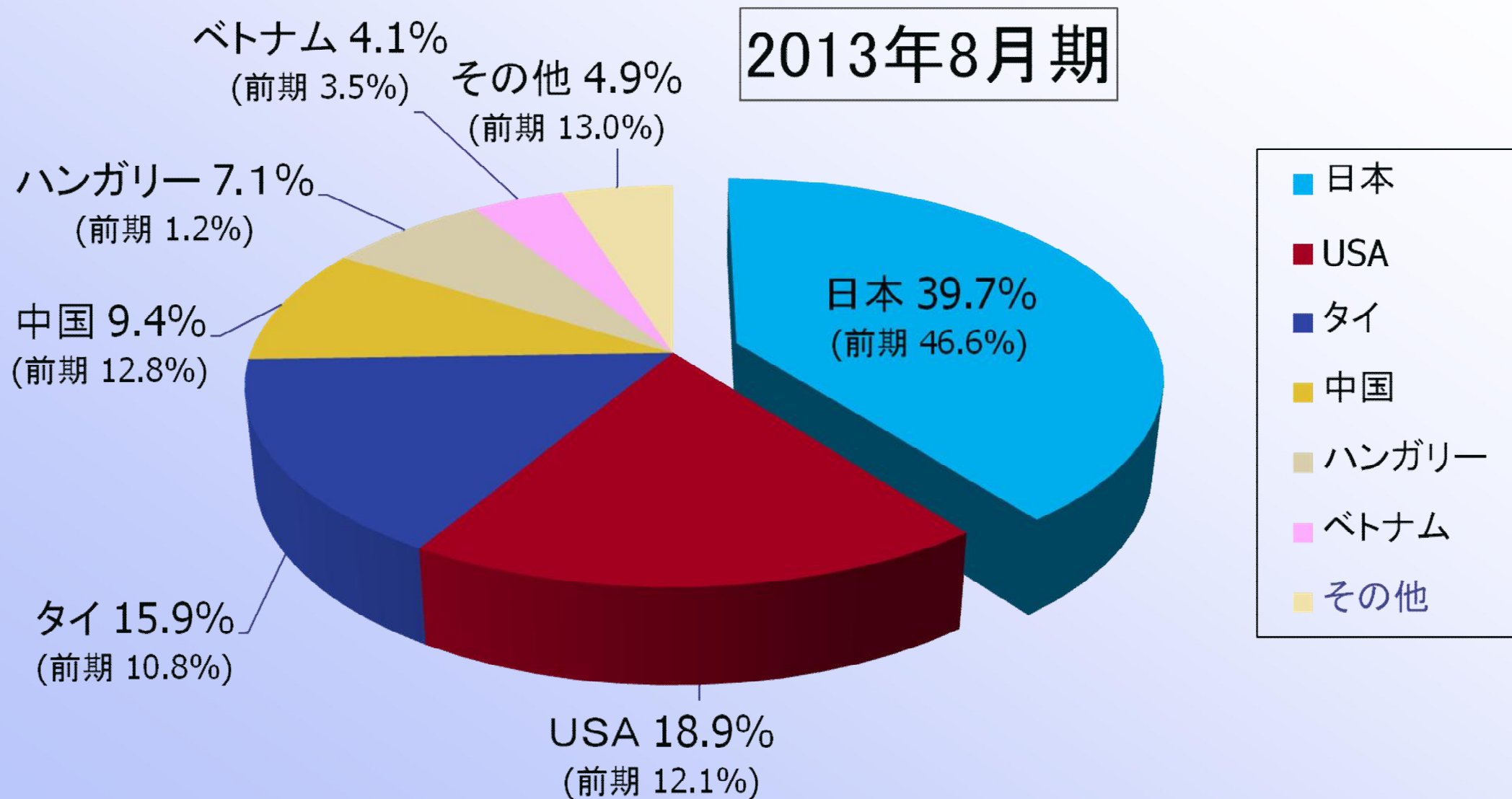
(百万円)

	2013年8月期 予想 (9ヶ月)		2013年8月期 実績 (9ヶ月)		予想からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	3,006	100.0 %	2,842	100.0 %	-5.4 %
売上総利益	891	29.7 %	1,070	37.6 %	20.0 %
販売費及び一般管理費	576	19.2 %	584	20.6 %	1.5 %
営業利益	315	10.5 %	485	17.1 %	53.8 %
経常利益	352	11.7 %	932	32.8 %	164.6 %
当期純利益	212	7.1 %	643	22.7 %	202.5 %
1株当たり配当金	27.00円		30.00円		

2013年8月期

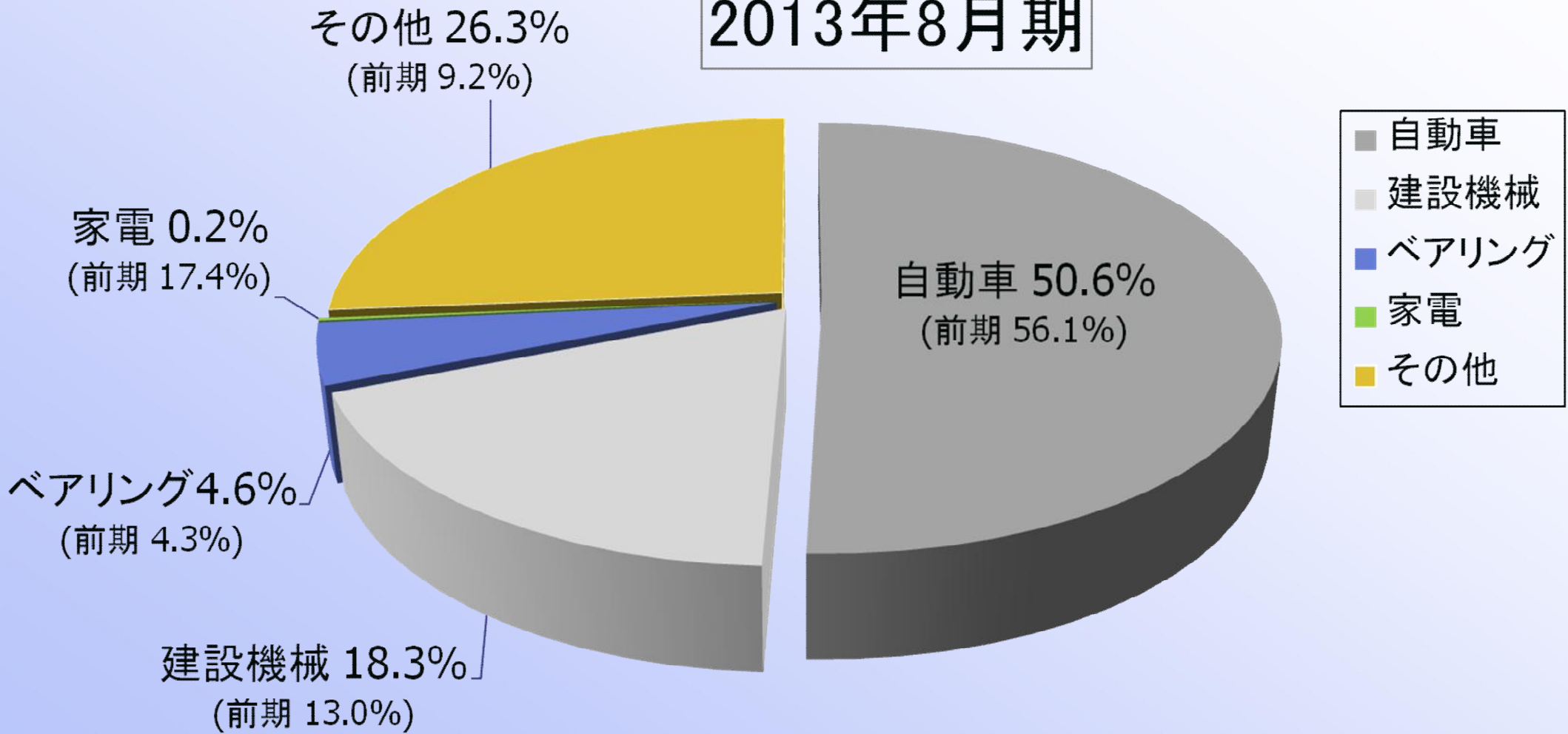


国別売上比率



業種別売上比率

2013年8月期



2013年8月期実績 品目別売上高(連結)

(百万円)

	2012年11月期 実績		2013年8月期 実績(9ヶ月)		前期からの 伸び率
	売上高	百分比	売上高	百分比	
心なし研削盤	4,305	77.4 %	2,064	72.6 %	- %
内面研削盤	705	12.7 %	383	13.5 %	- %
部品	486	8.7 %	365	12.9 %	- %
その他	63	1.2 %	29	1.0 %	- %
合計	5,560	100.0 %	2,842	100.0 %	- %

2012年11月期はタイの洪水被害復旧需要もあり、上期は受注が好調、下期が半減したことから、2013年8月期は製品売上の伸びが見られませんでした。

- **A1機 納入拡大**
- **高周波スピンドル販売開始**
- **R&Dセンター 完成** (試験 / 開発部門の拡充)

地上2階建の鉄骨造で、建築面積は約1,160㎡、延べ床面は約1,475㎡、総工費は約3億8千8百万円

2014年8月期業績予想 損益計算書(連結)

(百万円)

	2013年8月期実績(9ヶ月)			2014年8月期予想		
		百分比	前期からの伸び率		百分比	前期からの伸び率
売上高	2,842	100.0%	- %	5,307	100.0 %	- %
売上総利益	1,070	37.6 %	- %	1,734	32.7 %	- %
販売費及び一般管理費	584	20.6 %	- %	895	16.9 %	- %
営業利益	485	17.1 %	- %	839	15.8 %	- %
経常利益	932	32.8 %	- %	911	17.2 %	- %
当期純利益	643	22.7 %	- %	661	12.5%	- %

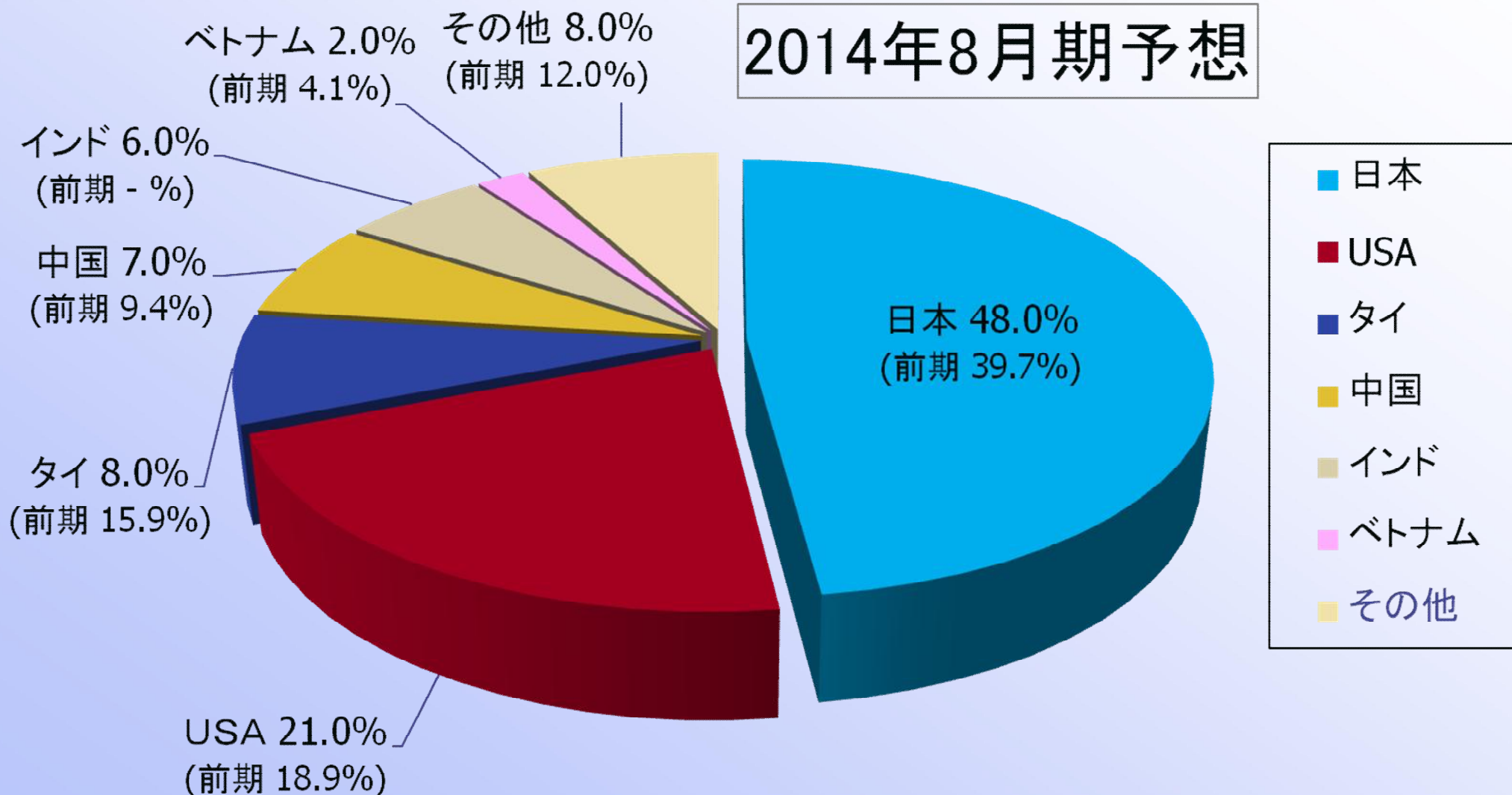
米国をはじめとした世界経済の復調及び国内経済環境の好転が期待できるものの、領土問題から発した近隣国との関係悪化の長期化や、不透明な停滞感から、設備投資は回復とは言い難い状況で推移すると見込まれます。当社におきましては、アベノミクス効果による国内への販売強化と米国及び東南アジアを中心とした海外への積極的な販売展開の強化を図ってまいります。このような状況から、売上高5,307百万円、営業利益839百万円、経常利益につきましては、有価証券利息による営業外収益を見込んでいることから911百万円、当期純利益は661百万円を見込んでおります。

2014年8月期業績予想品目別売上高(連結)

(百万円)

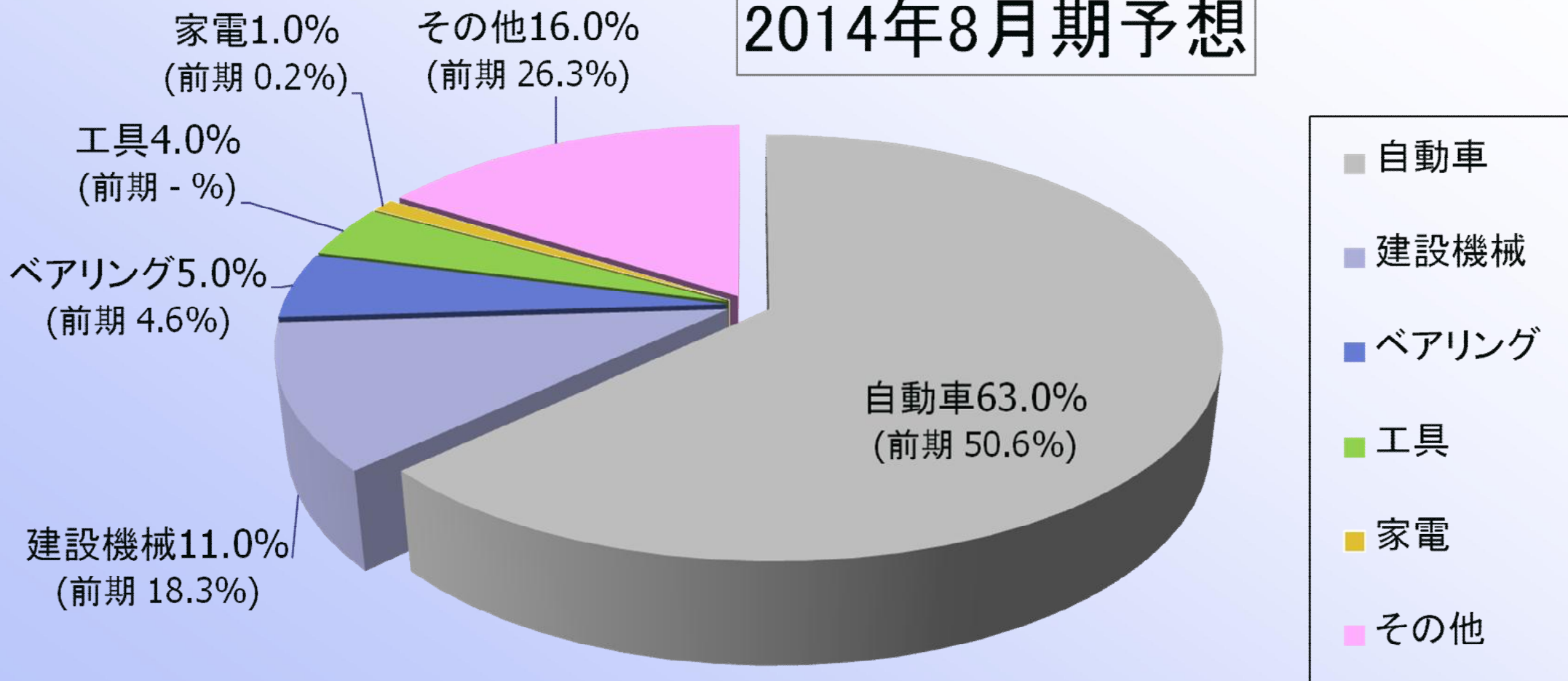
	2013年8月期実績			2014年8月期予想		
	売上高	百分比	前期からの 伸び率	売上高	百分比	前期からの 伸び率
心なし研削盤	2,064	72.6 %	- %	4,248	80.0 %	- %
内面研削盤	383	13.5 %	- %	574	10.8 %	- %
部品	365	12.9 %	- %	446	8.4 %	- %
その他	29	1.0 %	- %	38	0.8 %	- %
合計	2,842	100.0 %	- %	5,307	100.0 %	- %

国別売上比率 (2014年8月期予想)



業種別売上比率 (2014年8月期予想)

2014年8月期予想



- **R&Dセンターでの開発加速**
(要素技術・新製品の開発)
- **実作業率向上、原価低減プロジェクト**
- **平成27年(2015年)技能五輪山形大会への
取り組み**

世界最高峰と社員の幸せを目指して

1. 強みを極める弛まざる研究開発
2. 成長市場への集中
3. 新規市場への参入
4. 人財育成

◆ 自社製高周波スピンドル開発の展開

高周波スピンドルの展開

自社製高周波スピンドルの
ラインアップの充実を図る

150,000rpm高周波スピンドルを
手始めにラインアップの充実を図り、
製品の差別化につなげる。



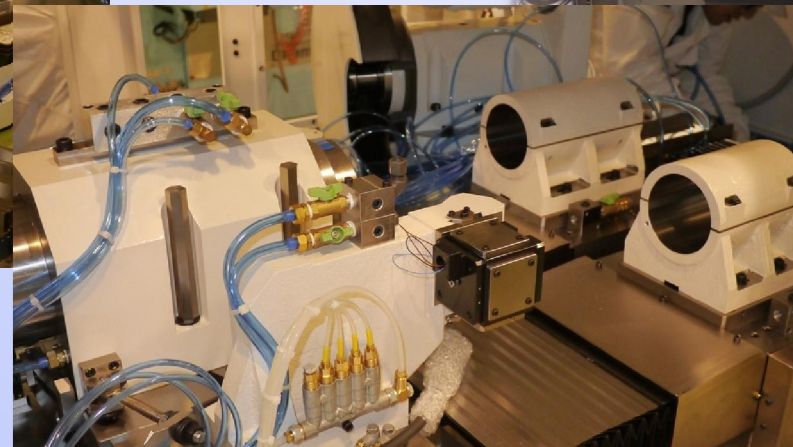
◆ 自社工程向け高精度加工機の開発

複合研削盤（仮称）

高精度化・コストダウンによる製品の差別化



開発中の複合研削盤

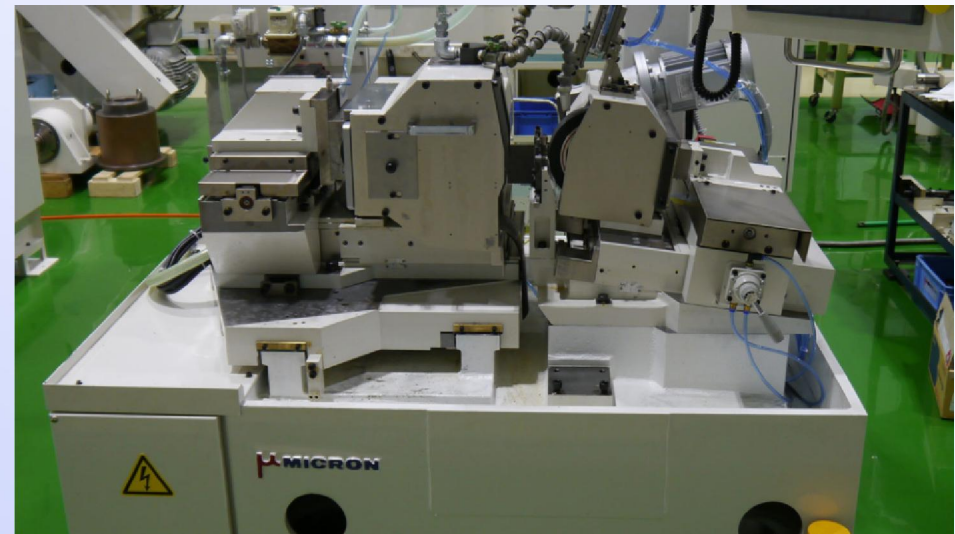


◆小型センタレス開発

心なし研削盤 MPC-250HP-A0

コストパフォーマンスに
優れた戦略的小型機第2弾

MPC-150HP-A1型機より 一回り
大きいサイズの加工物を対象にし
た機種。
アンギュラ仕様にも対応した機械



MPC-250HP-A0型機

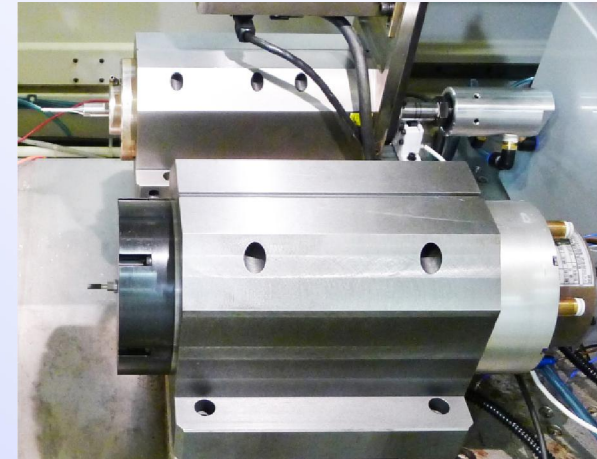
◆高周波パルス電流・超音波振動援用 プラズマ放電研削装置の開発

最近の要素技術開発

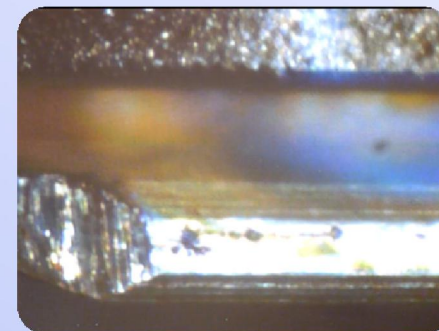
東北大学・秋田県立大学・山形県工業技術センターとの
共同研究

高周波パルス電流と超音波振動
を援用したプラズマ放電研削による
加工装置技術の開発。

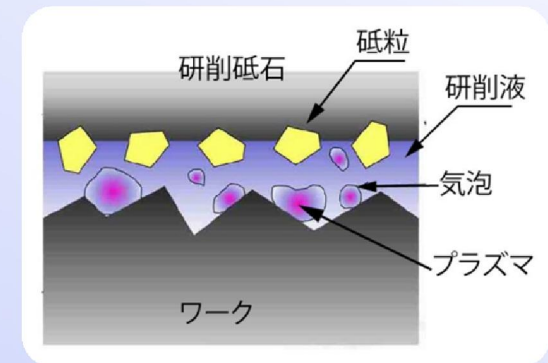
各種難削材の高精度・
高能率研削を目指す。



奥側:超音波電解スピンドル
手前:超音波スピンドル



砥石・ワーク間に
発生したプラズマ



イメージ図

◆タイ王国の営業所拡張、ショールーム開設

タイ王国(バンコク)にショールームを開設

東南アジア営業サービス増強による積極的な営業展開。



Micron Machinery (Thailand)
事務所入り口と内部



ショールーム 2013年(平成25年)2月開設

◆ R&Dセンター完成

新たに、蔵王みはらしの丘に上山市より工場用地を無償譲渡を受け、R&Dセンター(研究/開発拠点)が2013年8月完成

R&Dセンター

完成したR&Dセンターを活用し、医療機器市場へ向けた取り組みを開始。



R&Dセンター(外観)



工場内部

生産効率向上、ムダ削除の推進

◆生産効率向上、ムダ削除の結果として
売上総利益の上昇、販売奨励費削減

◆正味稼働時間率向上と
外部原価低減によるコストダウン目標 15%

◆ものづくりは人づくり
ブラザーシスター制の導入 ～技能・技術の伝承と鍛錬～
技術、知識の向上 ⇒ 生産能率向上 人柄の醸成

●将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

問い合わせ先 管理部

電話 : 023-688-8112

FAX : 023-688-8545

<http://www.micron-grinder.co.jp/>